

Mokutaiikyō

木耐協

Report

マンスリーレポート

2023.8
vol.
296



特集

複合災害だった

関東大震災からの教訓

今号の表紙

旧渋沢邸「中の家（なかんち）」（埼玉県深谷市）。渋沢栄一の生誕地に建つ主屋は、栄一の妹夫妻が1895（明治28）年に上棟した木造2階建ての家屋です。渋沢栄一が帰郷した際に滞在し、寝泊まりしていたことで知られています。主屋の老朽化と耐震性を改善するため、大規模な改修工事が行われ、内部が8月10日午後1時から一般公開されます。また、公開に際し、工事中に発見されたかまど遺構を見ることができます。

写真提供：渋沢栄一記念館
URL：旧渋沢邸「中の家」
https://www.city.fukaya.saitama.jp/shibusawa_eiichi/bunkaisan/1425343509929.html



日本木造住宅耐震補強事業者協同組合

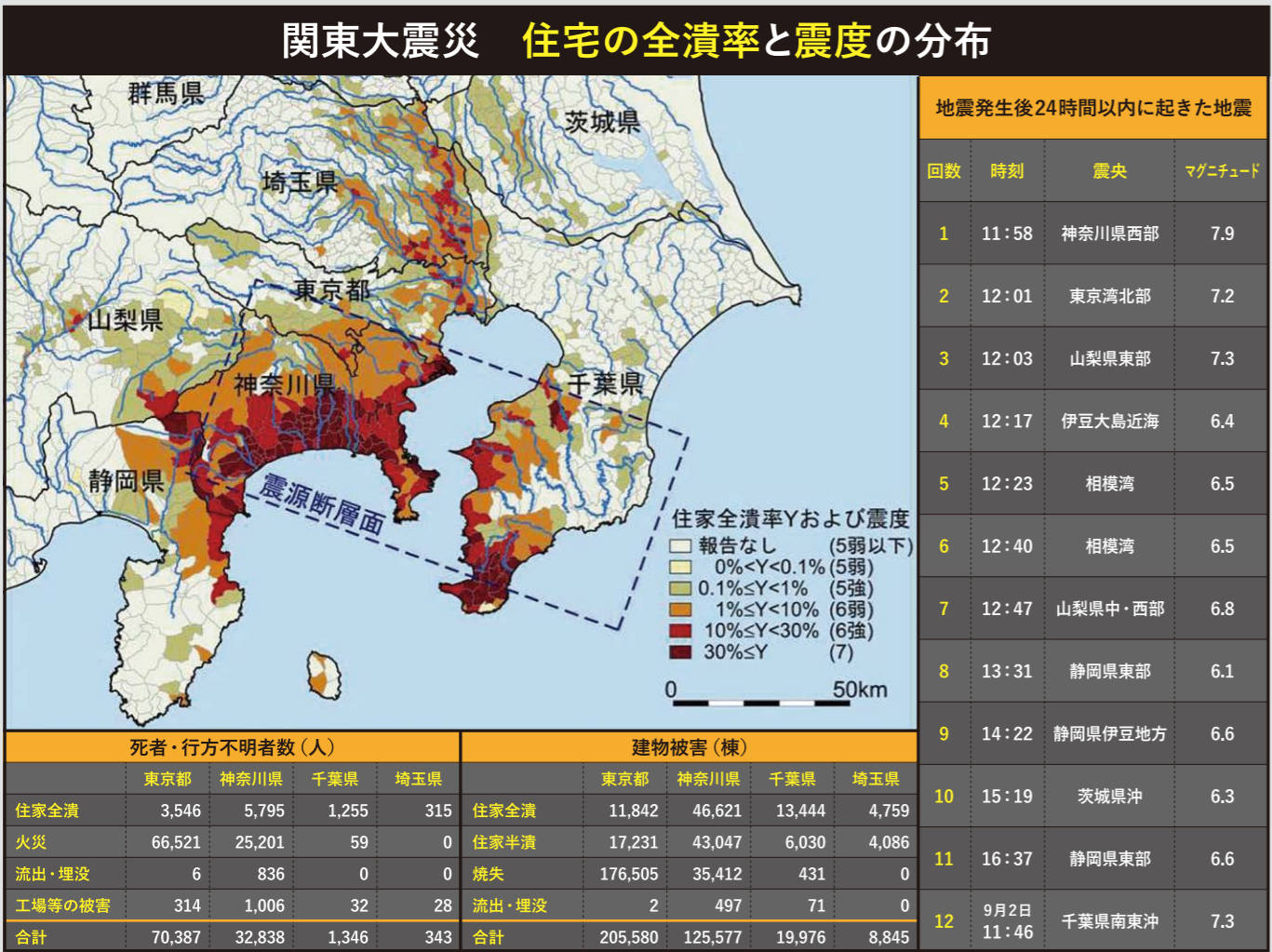


〔特集〕地震、火災、津波、台風、土砂崩れ、液状化

複合災害だった関東大震災からの教訓

地震・火災だけではなく
複合災害だった関東大震災

▼10万人以上の方が犠牲となった関東大震災では、死因の約1割は家屋の倒壊。残る約9割が火災です。火災の原因は大きく2つあり、1つは非耐火構造の住宅が多く燃えやすかったこと。また、台風が近づいていたため、震災当日の深夜には、風速20メートルを超える南風が吹き荒れたことが原因で広範囲に火が燃え広がり被害が拡大しました。天候だけでなく時間帯・季節などいつ起きるかによっても被害は大きく変わってきました。さらに、地震・火災だけでなく、津波・土砂崩れ（山崩れ）・液状化が広範囲で発生し、ライフランやインフラにも深刻なダメージをもたらした複合災害でした。



地震

全・半壊した住宅は
約14.6万戸

2日間で
マグニチュード7を
超える地震が
6回発生

倒壊による死者は
阪神・淡路大震災の倍

周期的に発生している首都直下型地震

▶関東では周期的に大地震が発生しており、首都直下型地震が再び発生すると考えられています(1703年元禄地震・1855年安政地震・1923年関東大震災)。倒壊を防ぐための耐震性の確保と、繰り返す地震への対策となる制震が重要です。

火災(旋風)

初期消火できたのは42%に過ぎず
**過半数が
消火できず延焼**

地震により断水し
**消火栓が
利用できず**

台風による強風で
広範囲に延焼

消化能力以上の火災の発生も想定

▶首都直下地震の被害想定では、東京消防庁のポンプ車(537台)台数以上の火災発生件数(最大623件)とあり、災害時の消火能力は不足しています。さらに、一都三県の人口は100年前に比べ6倍以上に増加・密集しており、火災への備えも重要です。

9月1日「防災の日」に向けて木耐協のセミナー、ツール等をご活用ください

▼木耐協では消費者の防災意識を高めるきっかけづくりとして、一般消費者の方にも参加いただける無料のオンラインセミナーの開催や、防災情報誌『まもりとそなえ』をご用意しています。

▼9月9日(土)は、防災教育普及協会の会長である平田氏に災害への備えについてご講演いただきます。また、防災情報誌『まもりとそなえ』も、毎月多くの組合員様にご活用いただいています。

▼こうしたセミナーやツールを活用できるのも木耐協組合員様だけのメリットです。今年の9月はこれまでになく防災・地震対策への関心が高まる月となりますので、お客様へ防災・耐震の重要性を伝えましょう!

防災情報誌『まもりとそなえ』で 地域住民とコミュニケーション

▶『まもりとそなえ』は防災・防犯に関する月刊の情報誌です。毎月15日頃に、印刷データをお送りしています。会社名を入れて印刷し、地域住民・OBの方へお配りいただくことで、認知度upにもなります。

消費者向けオンラインセミナー 無料でYouTube視聴可能

▶防災に関する有識者の方を講師に迎えたオンラインセミナーを開催しています。チラシデータも無料でご利用いただけますので、活用しないと損です!

液状化

▶東京湾岸部の干拓地や埋め立て地、相模川、荒川、古利根川などの河川沿いの低地で液状化が発生し、地盤の陥没や地割れ、建物の沈下、傾斜、地下水や砂の噴出などの現象が起きました。

土砂(山)崩れ

▶神奈川県を中心に131箇所です砂災害が発生し、死者・行方不明者は700～800人に上りました。神奈川県の大山では地震から2週間後の雨で土石流が発生し、大きな被害をもたらしました。

津波

▶熱海(12m)、伊東(9m)、鎌倉(5～6m)等に津波が押し寄せ、海岸沿いの家屋や集落が壊滅的な被害を受けました。適切な避難行動によって被害が最小限に食い止められた地域もありました。

今年1923(大正12)年9月1日11時58分に発生した関東大震災から100年という節目にあたります。ライフランにも甚大な被害をもたらした関東大震災の被害をふり返り、現代にも通じる教訓について特集します。

文 伊藤健三

木耐協事務局では、組合員様向けセミナーの他、業界イベントでの講演や会場への参加など、様々な活動を行っています。その様子をご紹介します。

6月も様々なイベントが行われました！ 木耐協活動報告

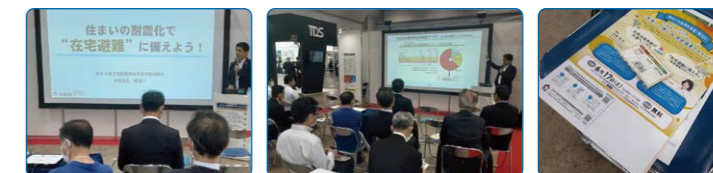
<不定期連載>

木耐協
あ・れ・こ・れ
寄稿

6/2(金)

第27回リフォーム&リニューアル 建築再生展2023 (一社)住宅リフォーム推進協議会ブースでセミナー実施

▶上記展示会のリ推協ブースで、在宅避難と81-00をテーマに40分間セミナーを行い、聴講者にはオンラインセミナーチラシとピンバッジをお渡ししました。



6/15(木)

(株)Zehitomo(ゼヒトモ) 組合員向けセミナー開催 「コストを下げ集客をする方法は？」

▶集客支援サイトを運営する Zehitomo 様に、これまでと違った集客方法を解説していただきました。右のQRコードから当日の内容を動画でご覧いただけます。



6/16(金)

(一社)住宅リフォーム推進協議会 令和5年度 定時総会・懇親会に参加

▶木耐協が加盟するリ推協の総会・懇親会に参加。4年ぶりの対面開催で久しぶりに多くの方にお会いしました。リ推協の瀬戸会長や国交省塩見住宅局長がご挨拶されました。



6/20(火)

自然災害が増加する中で必須の提案！ 『防災リフォームセミナー』を開催しました

▶昨年も多くの方に参加いただいた『防災リフォームセミナー』。今回は TOKAI の武内様(右)にその必要性や商品について、本誌連載中の清水大悟様(左)に営業面のお話を頂きました。



様々な団体・企業から木耐協にお声がけいただいています。

今後も皆様に時々ご報告いたします！

住宅コンサルタント清水大悟が解説！

これから
どうなる？

住宅産業界

▼住宅産業界をとりまく状況は刻一刻と動いています。人々の住まいに関わる住宅産業として、知っておきたい時代の動きを住宅コンサルタントの清水大悟氏に解説していただきます。

No.24

照明演出は どうやって 学ぶのか？

ライフスタイルデザイン を考える

住む人に合った素敵な暮らしを彩る際、重要な空間演出のひとつに「照明演出」があります。家づくりの際もリラックス・集中・活気づくりなど、部屋の用途に合わせた照明計画を立てることが重要

です。それでは、家づくりにおける照明演出はどのように学べば良いのでしょうか？

住空間の照明文化やトレンド

全体を均一に照らすセンター照明は、大量に住宅が建てられた高度経済成長期の傾向が残っており

照明演出を学ぶ最適な場所

古く感じられてしまいます。現代の住宅デザインでは、多様な照明手法や器具を組み合わせ、空間に個性やアクセントを加えることが求められています。柔らかく自然な光の演出や、複数の照明レイヤーや間接照明の使用が増えています。ただし、間接照明の掃除やメンテナンス、天井埋め込み照明の交換等には注意が必要です。

前号で紹介したバリのメゾン・エ・オブジェは、その最先端です。他にも都市部の商業施設の照明計画は、インテリア・雑貨を映えさせる照明やトイレ等の照明も計算されており、住空間でも役立ちます。非住宅における照明演出の要素も取り入れていくことが重要なので、様々な

場所へ足を運ぶことが大切です。

ポイント

- 照明計画は部屋の用途に合わせる
- センター照明は古く感じられるので、間接照明や複数の照明レイヤーが重要
- 照明演出の要素を学ぶために、様々な場所へ足を運ぶことが大切

〒114-0011 東京都北区昭和町1-9-18 ☎03-3810-1565

清水英雄事務所WEB > <https://au-shimizu.co.jp/>

雨と太陽で暮らす家。On The Spotコンソーシアム > <https://ots.amehiconso.jp/>

プロフィール



清水 大悟

事業・経営コンサルティング
清水英雄事務所株式会社
代表取締役社長

Twitter, Instagramなど
SNSで情報発信中



住宅業界にも影響大 対策できていますか インボイス制度

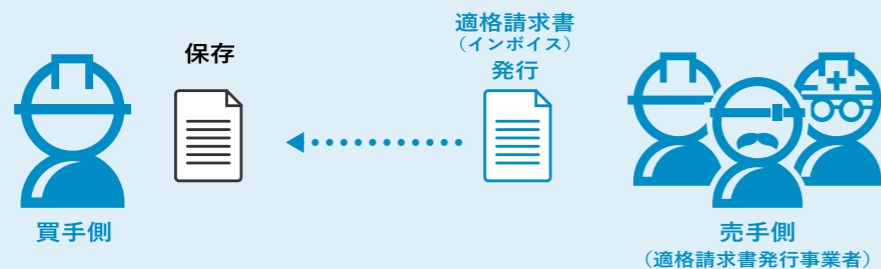
前号では「インボイス制度の基礎」について触れました。本号では「請求書発行&受取時のポイント」について解説します。変更点をしっかり確認し、事前に対策をしていきましょう。

2 請求書発行&受取時のポイント

▶ 請求書を発行する側の変更点

請求書を発行する側（売手）の変更点は、右の通りです。インボイス（適格請求書）を発行できるのは適格請求書発行事業者のみである点に注意しましょう。

主な変更点	
適格請求書発行事業者のみ インボイス（適格請求書）の発行が可能	
適格請求書でなければ 受け取る相手に仕入額控除が適用されない	
適格請求書を電子保存する場合、 7年間の保存義務が生じる	



▶ 請求書を受け取る側の変更点

請求書を受け取る事業者（買手）が仕入額控除の適用を受けるには、前提として自社と取引先がいずれも適格請求書発行事業者でなければなりません。事前取引先と話し合いをしておきましょう。

主な変更点	
帳簿、適格請求書、 関連する電磁的記録の保存が必要になる	
適格請求書発行事業者以外からの仕入れには 原則として消費税額の控除が適用されない	
要件を満たす請求書であれば、 経過措置期間内は一定の消費税額控除を受けられる	

▶ 次回は「インボイス制度に対応しないとどうなる？元請け事業者が対応すべきこと」



プロフィール

dandori work

株式会社ダンドリワーク
ダンドリワーク事業部フィールドセールスチーム
マネージャー
北原 裕太

滋賀県草津市南草津二丁目1番地7
TEL : 077-598-6997
Mail : contact@dandori-work.com

建築現場の施工管理アプリ
ダンドリワーク



インボイス制度の
セミナー開催中！



2023年
8月号
第23回

「木造住宅の耐震診断と補強方法」のポイントを解説！ 木耐協 技術部の技術通信

耐震診断の方法をまとめた日本建築防災協会発行「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」とホームページで公開されている「質問・回答集」の中で、抑えておくべきポイントを取り上げてご紹介します。

適用範囲 第3章 一般診断法<柱接合部の低減係数> Q3.85

Q 接合部仕様について、平成12年告示1460号に適合する仕様（一般診断法では接合部「I」）であるかについて、N値計算を用いる場合、診断法上での考え方を示していただきたい。

A 告示1460号に適合する仕様（一般診断法では接合部「I」）であることを確認するにあたり、いわゆるN値計算法の考え方に基づき確認をする場合には、壁基準耐力を1.96で除した値を耐震診断上のN値計算用壁倍率として用いて良い。

■ 考察

【指針編】p.36～37に「壁倍率」と「壁基準耐力」の関係が述べられています。耐震診断では壁の強さをそのまま表しているため、壁長さ当たりの強さ（kN/m）を用います。一方N値計算は壁の耐力（能力）を無次元化（単位なし）としているため、壁基準倍率（壁倍率：1.0…⇒壁長1mで1.96kNの耐力）を使用しています。建築基準法施行令第46条の表1（下表）に、軸組に設けられた耐力壁の倍率一覧が定められ、倍率が1.0となっているのが基準となる壁の能力（=1.96kN/m）というわけです。この表にある壁の種類は少ないですが、実際は同表の(8)にある国土省大臣認定を獲得した商品や、壁倍率ではなく壁強さ（kN/m）で認定を取得した商品がたくさんあります。

ただ、「N値計算」は壁倍率（無次元）で行うため、種々の耐力壁をできる限り同一の評価とするには後者の「壁強さだけの認定品」を倍率化した上で同じ土俵で計算できるように、1.96という換算値を用いる必要があった訳です。本来「壁倍率」は【指針編】p.36下段にある、[Po]を求める四つの計算式から最も低い値を採用しますが、「壁基準耐力」はこれら四つのうち（解式 3.2）から決まるので、ここで用いる1.96の換算値はあくまで「便宜上」という扱いであることを認識しておきましょう。

建築基準法施行令第46条 表1

軸組の種類	倍率
1 土塗壁又は木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面に打ち付けた壁を設けた軸組	0.5
2 木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の両面に打ち付けた壁を設けた軸組	1
3 厚さ1.5cm以上で幅9cm以上の木材又は径9mm以上の鉄筋の筋かきを入れた軸組	1.5
4 厚さ3cm以上で幅9cm以上の木材の筋かきを入れた軸組	2
5 9cm角以上の木材の筋かきを入れた軸組	3
6 (2)から(4)までに掲げる筋かきをたすき掛けに入れた軸組	(2)から(4)までのそれぞれの数値の2倍
7 (5)に掲げる筋かきをたすき掛けに入れた軸組	5
8 その他(1)から(7)までに掲げる軸組と同等以上の耐力を有するものとして国土交通大臣が定めた構造方法を用いるもの又は国土交通大臣の認定を受けたもの	0.5から5までの範囲内において国土交通大臣が定める数値
9 (1)又は(2)に掲げる壁と(2)から(6)までに掲げる筋かきとを併用した軸組	(1)又は(2)のそれぞれの数値と(2)から(6)までのそれぞれの数値との和

※本連載では紙面の都合上、「質問・回答集」の主旨が変わらない程度に表現を変えた部分があります。

今月のテーマ

「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の質問・回答集⑳

今月のポイント

壁倍率を1.96倍すれば
概ね壁基準耐力とみなせる
全く同じ値ではないため便宜上の
関係であるとの認識を忘れずに

木耐協技術部 | 駒井隆広



8月に4年振りに現地開催される宿泊研修会で、皆様とお会いできるのを楽しみにしております。懇親会では色々情報交換できれば嬉しいです。皆様のご参加お待ちしております!!

→ 技術的な質問や相談をお送りください

Mail mts@mokutaikyo.com

Tel 048-224-8316 (木耐協事務局)

シ道

資格は武器になる

視野や知識を広げ、
お客様への提案に役立つ
資格をご紹介します。

▼自然災害が増加する中で防災意識
が高まっていますが、備えが十分
という家庭や企業はまだ少数
であるのが現状です。理由の一つに
は「備蓄品の収納場所がない」があ
ります。

▼この問題の解決に期待されるのが、
防災備蓄収納プランナーです。講
習を通じて「何がどれくらい必要
なのか」という備蓄の知識と、「い
ざというとき、すぐに、正しく使
える収納スキル」が身に付き、収納
プランの考案も可能です。

第4回 防災備蓄収納 プランナー

- ▶ 講座：全国の会場とWEB版で開催（詳細は協会HP参照）
- ▶ 資格取得費用：[1級] 67,540円（税込）
2日間の講習費/資料代/認定料/課題提出/試験料含む
[2級] 24,090円（税込）
1日の講習費/資料代/認定料含む ※試験なし
- ▶ その他：「防災備蓄収納マスタープランナー」
「職場備蓄管理者」もある
- ▶ 管理団体：一般社団法人 防災備蓄収納プランナー協会

<https://bichiku-shunou.or.jp/>



ポイント
リフォームに
「防災備蓄の収納プラン」
もプラスしてご提案！

中古住宅 + リノベーション の お金の知識

第5回

実はお客様が知っていたがっている！

「中古住宅+リノベーション」
事業を先進的に取り組ま
れている組合員である株式
会社MIMAの美馬社長
から、リフォーム会社として
知っておきたい住宅やお金
の基礎知識を学びます

お客様に合った予算額を提案するには？

▼「資金計画フローチャート」を使って説明

▼資金総額から、諸経費とリノベ費用を
先に差し引いたものが物件価格

↓ 予算内の物件・リノベ費用
を予想できる

お客様に合った予算を検討
する場合、「資金計画フロ
ーチャート」を用いていただ
くようにしましょう。

資金計画フローチャート
で説明

流れを説明します。まず、①毎
月返済可能額を、支払いに無理
のない額に設定。次に②金利と
借入期間を設定し、ローン計算
アプリなどから③借入可能金額
を計算します。

④現金と⑤援助（ある場合）
の合計から⑥自己資金を決め、③
借入可能金額と⑥自己資金の合
計が⑦資金総額になります。

例えば、月8万円返済として
③2830万円 + 自己資金
200万円の場合、⑦3030万
円となり、そこから⑧諸経費（物
件価格の10%前後）を引きます。
これが⑨マイホーム購入資金額
です。

さらに⑨から⑩リノベーション
費用（カーテンや家具・照明・家
電代金も）を引くと、⑪物件価格
になります。例では、⑦3030
万円 - ⑧諸経費300万円 =

News & Topics

■ 木耐協『ぼうさいこくたい2023（神奈川）』に出展決定！

ぼうさいこくたいは、防災に関わる団体・企業等が一堂に会するイベント
です。応募者多数の中、木耐協は審査を無事通過し、昨年に続き出展
が決定しました。

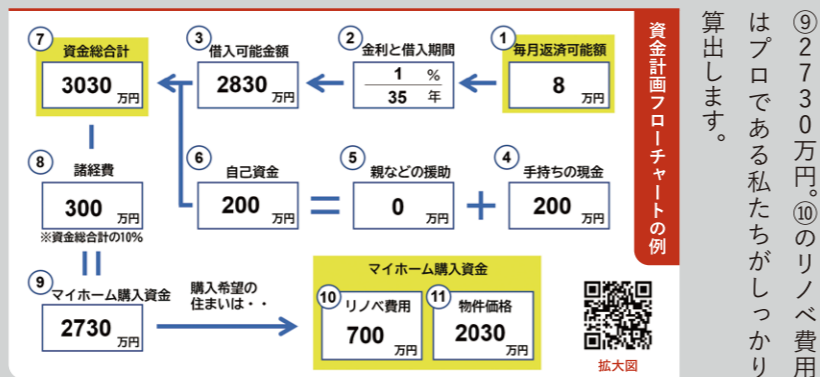
今年は横浜国立大学を会場として、約400の団体等が出展します。
お近くの方はもちろん、3連休ですので皆様ぜひお越しください。また、オン
ラインイベントも併催予定ですので、サイトで最新情報をご確認ください。

ぼうさいこくたい2023

日程：2023年9月17日（日）～18日（月・祝）
会場：横浜国立大学（JR横浜駅から臨時シャトルバス）



<https://bosai-kokutai.jp/2023/>



リノベーション費用と 諸経費を先に差し引く

ポイントは、資金総額から、
諸経費とリノベーション費用を
先に差し引いたものが物件価格
であることを念頭に置いてもら
うこと。それを伝えることで、
予算に合う物件価格やリノベ費
用の組み合わせがある程度予想
できるようになります。



プロフィール

美馬 功之介 みま こうのすけ
株式会社MIMA 代表取締役社長 / 不動産エージェント /
宅地建物取引士 / 建築士 / 木耐協組合員
Instagram @kounosuke0606 YouTube【住まいの大王】チャンネル @HouseKingMima

書籍も
発売中!



株式会社MIMA

ホームページ <https://mima-yao.com>
Tel. 0120-43-0683 9:00～18:00（無休）



三浦しをんが紡ぐ
言葉の素敵さと、書の描写の豊かさ

Book

今号の理事長オススメはこの二冊！
『墨のゆらめき』

『墨のゆらめき』
著者／三浦しをん
発行／新潮社
価格／1,600円(税別)

①物語自体が魅力に溢れていて面白いこと
②紡がれる言葉が素敵なこと
③人物描写が掘り下げられていて感情移入出来る事
この小説は、約60年ぶりに書道教室に通い始めた私にとってタイムリーであり、面白すぎました。
主人公の「統(つづぎ)」は、西新宿のちんまりとした老舗ホテルに勤める中年のホテルマン。そのホテルには固定客も居て、従業員もプライドを持ってお客様に誠心誠意尽くしている。また、ホテルにはイベントの招待状などを毛筆で代筆する「筆耕士(ひつこうし)」が数人登録をしている。そのうちの「遠田(とくだ)」という男



とのちょっととした手違いから、統は遠田が開く書道教室に行く羽目になり、そこから物語は始まる。基本的にその男2人のやり取りを中心に話は進むが、読み手の想像を超えて展開する物語は秀逸。流石の「三浦しをん」…紡がれる言葉の素敵さに輪をかけて、「書」の描写の豊かさに圧倒され、まさにその「書」の映像が浮かんで来る感じがええします。遠田とはいったい何者なのか？謎解きの興味も尽きないうちのいつき怒涛の展開に、あっという間に読み終わり、読後感も爽やかな、それはとても素敵なお時間でした。ミステリー仕立てでありながら、笑いの要素もふんだんにあり、ほろりとさせる所もちゃんとあって…今月も良書に出逢えました。
毎月何冊も読んでいて、万人にとって面白い本があるのではなく、読み手にとって面白い本は確実に存在するので、その一冊に出逢うために何冊も読んでいるのだと改めて思う今日この頃です。

事務局通信

●編集後記●
今回は、関東大震災が特集でした。私の祖母が生きていた頃、親戚が家屋の下敷きになったのよと、つい最近の出来事のように話していたのを思い出します。100年は長いですが地球の歴史でいえば一瞬。節目に調べて、今後起きたらどうするかなど、考えていくことも必要ですね。(渥美)

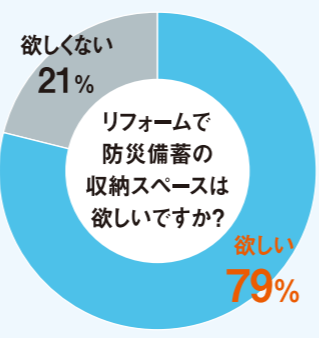


▲家に保管されていた関東大震災の本

アンケート結果「リフォーム時に“防災備蓄収納が欲しい人”は約8割」

6月17日(土)に開催した第2回オンラインセミナーには約130人が受講され、アンケートに55名から回答いただきました。

「リフォームするとしたら防災備蓄の収納スペースを欲しいか?」という質問では、「欲しい」が79%という結果でした。リフォーム時に防災備蓄の収納を提案すると良いかもしれません。アンケート結果をまとめた記事をプレスリリースしていますので、ぜひご確認ください。



アンケート結果のリリース記事
<https://bosai-kokutai.jp/2023/>

8月夏季休業のご案内

木耐協事務局は8月11日(金)～15日(火)の間、夏季休業とさせていただきます。耐震診断結果報告書・耐震改修提案書の発行については、別途、発行スケジュールのご案内をお送りします。なお、耐震診断受付専用ダイヤル(0120-249-761)は年中無休(9時～17時)で受け付けております。

発行●国土交通大臣認可法人 **日本木造住宅耐震補強事業者協同組合**
発行人●小野秀男 編集●関 励介、伊藤健三、渥美寿子
所 在●東京都千代田区麹町2-12-1グランアクス麹町7F tel 03・6261・2040 fax 03・6261・2041

木耐協メーカー賛助会員様からのご案内



施工管理アプリの導入に IT導入補助金を活用 できます!

ダンドリワーク は
「IT導入支援事業者」に
採択されました。
この制度の活用で



5万円～150万円未満 の補助が受けられます!

ご検討の方
IT導入補助金がよく分からない…という方も

▼▼▼ ぜひこちらから ▼▼▼

ダンドリワーク セミナー



組合員さん
～事務局長がおじゃまします～
こんにちは!

▼平氏は法人営業の窓口として各地のセミナーで講師も行う



テオリアハウスクリニック

ウェブサイト 経路案内 保存

4.9 ★★★★★ Google のクチコミ (31)
東京 練馬区の害虫・害獣駆除サービス

▲口コミは全て工事後に
お客様が書き込まれたもの



▲ブランディング戦略の一環で明るい印象で統一されたホームページ

株式会社 テオリアハウスクリニック様

(東京都練馬区)

シロアリ防除事業や住宅診断事業で培われた床下調査の技術を活かした、「非破壊」断熱リフォーム工事の新規受注が好調なテオリアハウスクリニック様に、キャンセル待ちになるほどの人気の理由を伺いました。

相見積もりなく そのまま受注!

ホームページに多くの断熱リフォームの施工事例やコラムが掲載されています。地域名や工期、施工金額が明記された事例が写真付きで掲載されており、お客様はそれらの事例をホームページで何度もチェックしたうえで断熱診断の依頼をされるため、相見積もりなく受注に至るケースが大半だそうです。

ブランディング戦略で 若い人材が躍動する 会社に大転換

「当初は不慣れな調査や工事ですり、試行錯誤の状態が続き、診断や

報告書に相当な時間をかけても最後は値下げ交渉という時期も長かった」と、取締役の平氏。転換のきっかけは、シロアリ会社や防蟻事業のイメージを刷新するブランディング戦略。企業としての新しいイメージが浸透すると、お客様の反響だけでなく、若い人材の採用にもつながりました。

若い人材による調査・工事はおお客様の評判が良く、顔出しでの事例掲載や口コミに協力いただいたきやすくなり、更にそれを見た新たなお客様が申し込みをされるという好循環が続いているとのこと。

床下を見れば全てわかる

「防蟻もインスペクションも断熱も、床下を見ればすべて分かれます。耐震診断のプロである木耐協の組合員様は、床下調査に長けているというアドバンテージがあります。補助金等の国の後押しも充実していくはずですよ」と、平氏に断熱リフォームへの意気込みを力強く語って頂きました。



▲豊富な事例やコラムをみて断熱診断の依頼が殺到。現在、対応力の上限に達したため新規受付を停止している

平さまは名刺交換でご縁があった方に「月刊たいら通信」を郵送されていて、既に100号を超えているそうです。断熱リフォームのトップランナーとしてのお話は、今後耐震と断熱が連動して重要性が増していくことを実感する内容でした。
(事務局長／
田中章浩)

